



2020 年 3 月 17 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「アジア・エクイティ・インカム・ツイン α ・ファンド（毎月分配型）」の 基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「アジア・エクイティ・インカム・ツイン α ・ファンド（毎月分配型）」の基準価額が、2020 年 3 月 16 日の基準価額に比べ-6.75%下落いたしました。この下落の要因と今後の展望に関しましてご報告いたします。

敬具

記

(1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	3月16日 基準価額	3月17日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
アジア・エクイティ・インカム・ ツイン α ・ファンド（毎月分配型）	1,466 円	1,367 円	▲99 円	▲6.75%

(2) 基準価額の変動要因について

本ファンドは、主要投資対象（基本投資配分比率 95%）とする「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-アジア・エクイティ・インカムプラス・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家限定）-ツイン・アルファ・クラス」（以下、ケイマン籍円建外国投資信託といいます。）への投資を通じて、日本を除くアジア諸国・地域（主として、香港、韓国、台湾、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポールおよびインド等）の株式に実質的に投資を行います。従いまして、本ファンドの基準価額は、ケイマン籍円建外国投資信託を通じて、上記の日本を除くアジア諸国・地域の株式の値動きの影響を大きく受けました。



主な変動要因としては、「株式要因」が▲5.89%、「為替要因」が▲0.85%となり、それぞれがマイナス要因となりました。基準価額は、その他要因も含めると▲6.75%の下落率となりました。

基準価額騰落率の変動要因						
対象期間:2020年3月13日から2020年3月16日まで						
「株式要因」			「為替要因」		その他 要因	合計
価格 変動	オプション 効果	配当 要因	価格 変動	オプション 効果		
▲6.31%	+0.42%	0.00%	▲1.19%	+0.34%	▲0.01%	▲6.75%

(※表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致とされない場合があります。)

(3) 市況概況

本ファンドについては、投資対象の各国金融市場におけるリターンを1日遅れで反映させる仕組みとなっております。3月13日から3月16日までの主要アジアの株式市場の推移(現地通貨ベース)は、MSCI Asia ex Japan index が▲5.5%の下落となり、香港ハンセン指数が▲4.0%、インド SENSEX 指数が▲8.0%、台湾加権指数が▲4.1%、ジャカルタ総合指数が▲4.4%の下落となりました。

また、3月13日から3月16日までの主要アジアの為替市場の推移は、香港ドルが▲1.36%、インド・ルピーが▲1.67%、台湾ドルが▲1.09%、インドネシア・ルピアが▲1.42%の下落となりました。(※為替市場は、全て対円騰落率として表記しています。)

16日の主要アジアの株式市況は、FRB(米連邦準備理事会)が15日に臨時のFOMC(米連邦公開市場委員会)を開き、政策金利を1.0%引き下げ、事実上のゼロ金利政策を決定するも、逆に投資家の警戒感が高まり、大幅に下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の収束が見られない中、世界経済が急減速する根強い懸念が継続し、FRBの緊急利下げに続き、16日の正午には日銀も臨時の会合を開いて量的緩和の拡大を決定するも、日本株を含むアジア圏の株価は軒並み下落する推移となりました。

以上